



(データ：電力各社および実施団体発表)

図1-6 国内 メガソーラ計画 (2011年段階で稼働開始の計画)

(7) メガソーラと蓄電システム

前述した表1-2、表1-3に、それぞれの計画における蓄電システムの導入計画の有無を示した。この表の中で東京電力・扇島ではNEDOの研究成果による系統連系技術を導入し、関西電力・堺ではニッケル水素蓄電池による周波数安定化技術を導入しているが、いずれも短周期対応の技術内容であるため、長周期対応やタイムシフトのための蓄電システムは採用していない。

これらのメガソーラはいずれも既存の電力系統に連系されるが。最も単純な連系の例は図1-7の様にパワーコンディショナー (DC/AC変換) と変圧器を介して系統母線に連系させるシステムである。この部分の変換効率が重要となるが、中部電力・武豊のメガソーラ (7.5MW) の場合は変換効率 97.5%の東芝製品を採用している。